



平和大通りを歩く

第57号

△ヒース・シース▽
平和や命の大切さをいろんな視点から捉え、広げていく「種」が「ヒース・シース」です。世界中に笑顔の花をたくさん咲かせるため、中学、高校生の25人が自らテーマを考え、取材し、執筆しています。

広島市内のデルタを東西へ横切る「平和大通り」。「100m道路」と呼ばれ、緑の茂る一本の道は5本の川を越え、広島をメインストリートです。
戦前は幾つもの道が東西へつながっていました。太平洋戦争が始まり、空襲が激しくなると、この道の両脇の家を壊して空き地を作る「建物疎開」が始まりました。原爆が落とされたあの日も朝から作業があり、6千人前後の動員学徒が犠牲になりました。
復興の中で、その空き地を生かして建設されたのが平和大通りです。広島市内の市町村から多くの木が寄せられ、焼け野原の街に緑が戻りました。通りのあちこちに慰霊碑も建てられ、名前通り平和を願う場にもなりました。



復興象徴 緑のベルト

供木運動街に希望の色彩

原爆投下で焼け野原になった街に延びたのが、今の平和大通りです。広島市は当時の広島県内の市町村に呼び掛け木を寄付してもらいました。供木運動といいますが、そばにあった大きなクスノキも西区の樹木医、堀口さん(73)と歩き、木々を観察しました。中け跡で再び芽を出し、市民の生き国新聞社前をスタートし、まず白神社へ向かいました。「原爆が投下された時、木は真っ黒に焦げて



堀口さん(左)から平和大通りの木について教わるジュニアライター(撮影・目黒美貴)

樹木医・堀口さんと観察

近くに、今もしっかりと生えているように見えるムクノキは被爆樹木です。ただ被爆した木は爆心地側に幹が傾いたり、葉が黄色がかつたりするなど特徴が見られるそうです。
供木運動による木も残っています。市によると1957〜58年の運動で平和大通りに植えられた木は約6千本。2015年の調査では平和大通りにある全体約2200本のうち、供木は約360本ありました。
広島クリスタルプラザ前の「トキワギョリュウ」も供木とみられます。3本ありましたが今は1本に。堀口さんは「寿命を迎えている」と言います。このまま木がなくなり、ずっと見慣れていた光景が変わっていくのは寂しく感じます。
「木の声を聞いて」と強調する堀口さん。現在の大通りの木は全体的に葉が少なく、土も乾いて水不足だと指摘します。「過剰に手を加える必要はないが、木が生きやすいように人から手を差し伸べない」と

一帯に慰霊碑 祈りの空間

平和大通りについて、「平和記念公園から延長される平和空間」と説明するのが竹屋公民館(中区)を拠点に活動する原爆慰霊碑ガイドボランティア「ヒロシマ」代表の玉置和弘さん(50)です。「現地を歩きながら当時の空気を感じてほしい」と碑巡りの大切さを話します。一帯に17カ所ある慰霊碑のうち、竹屋公民館周辺の3カ所を案内してもらいました。

広島県立広島第一高等学校「追憶之碑」



県女の「追憶之碑」前で説明する玉置さん(左)たち

被爆時に学校があった場所に立っています。横の門柱はその証し。土橋付近で建物疎開作業中だった1年生うら3人を含め、亡くなった約300人の名前を、そばの銘板に刻んでいます。その一つ一つに自分と同世代の命がありました。(高2平田佳子)

移動演劇さくら隊 原爆殉難碑



移動演劇さくら隊原爆殉難碑

原爆では、たまたま広島に来ていた人たちが巻き添えになりました。全国を回って演劇していた「さくら隊」の9人は広島市堀川町の宿舎で被爆します。東京まで逃げて亡くなった仲みどりさんは、初めて原爆症と診断されました。1955年、演劇界の有志が宿舎に近い現地に建てました。(中3岩田諒馬)

広島市医師会 原爆殉職碑



広島市医師会原爆殉職碑

高さ17mの碑は手と手を合わせた形です。原爆で亡くなった医師や看護師、助産師たちを悼み、1960年に広島市医師会が建てました。あの日、広島で医療に携わっていたのは2千人以上。その多くが被爆しながらも、けが人の手当てに努力しました。(高1ワイリックス・ウォルシュ)



市街地を一筋に延びる平和大通りのグリーンベルト。西区の新己斐橋(手前)から南区の鶴見橋まで約4km続く

平和大通りの歴史 石丸紀興・元広島大教授に聞く



平和大通りの歴史を、広島市の復興史に詳しい元広島大教授の石丸紀興さん(77)に聞きました。

市民の犠牲や協力で完成

つて東西へ造ることが目的でした。街を南北に分け、空襲による火災が広がるのを防ぐためです。しかし原爆は街を丸ごと火の海にしました。
被爆翌年に立てられた復興計画は、防火帯を基に道路を造ることを柱の一つに。幅が100m、東洋カーブのバレード、そして2年後に始まった「ひろしまラフォーエスティバル」でした。石丸さんは「市民の犠牲や協力があって完成したのが平和大通り。大切に工夫して使っていきたい」と話します。(高1目黒美貴)